



JAPAN WINDSURFING ASSOCIATION

レース公示/帆走指示書

# IQFOIL

総合型クラブ対抗セーリングジャパンカップ 2024

2024IQFOIL ユース/ジュニアクラス全日本選手権

期日：2024年11月23日(土) 24日(日)

開催場所：江ノ島ヨットハーバー

主 催

一般社団法人湘南海洋教育スポーツ振興協会  
(総合型地域スポーツクラブ江ノ島ちよっとヨットビーチクラブ)

共同主催

一般社団法人日本海洋教育スポーツ振興協会  
(総合型地域スポーツクラブ江ノ島ちよっとヨットビーチクラブ)  
一般社団法人日本ウインドサーフィン協会

公 認

公益財団法人 日本セーリング連盟 (JSAF 承認番号 申請中)

協 力

ちよっとヨットビーチマリーナ江ノ島、腰越漁業協同組合、江ノ島片瀬漁業協同組合、

協 賛

**MAGIC MARINE**

MagicMarine Japan

Starboard JAPAN

## 1. 適用規則

- 1.1. 本レガッタは、セーリング競技規則 2021-2024 及び付則 B（以下 RRS という）に定義された規則、IQFOIL ユース/ジュニアクラスはクラスルールで定義された規則を適用する。ただし下記で修正・追加したものは除く。
- 1.2. 適用される国内規定は、公式掲示板に掲示される。
- 1.3. FOIL チャレンジクラスは、大会当日のスキッパーズミーティング及び SSI にて補足説明する。
- 1.4. RRS Appendix B が適用される。しかしながら、RRS B5 61.1(a)は削除される。
- 1.5. RRS Appendix T- 調停/Arbitration が適用される。
- 1.6. 補足の帆走指示書(SSI)が公示される際は、この公示/帆走指示書は変更または修正される場合がある。
- 1.7. このレガッタに適用されるすべてのルールにおいて：
  - 1.7.1. [SP] レース委員会またはテクニカル委員会が審問なしに標準ペナルティを適用できるルール、またはジュリーが審問で裁量ペナルティを適用するルールを示す。これは RRS 63.1 と A5 を変更している。
  - 1.7.2. [NP] ボードによる抗議の根拠とならないルールを示す。これは RRS 60.1(a)を変更している。
- 1.8. クラスルールに関する抗議についての決定:RRS64.4(a)は適用されない。
- 1.9. 新しい RRS ルール 27.4 を、以下の通り追加する：

レース委員会は、スタート信号が行われる前後 10 秒の間に、スターボードタックの場合は緑の旗、ポートタックの場合は赤の旗を掲げ、特定のタックで帆走することを示すことができる。
- 1.10. 新しい RRS ルール 29.3 を、以下の通り追加する：

予告信号の時点で、最初のマークへのコースが真の風から約 90 度の場合、

  - (a) スタート信号時にレース委員会がスタートラインのコース側にボードを確認した場合、ゼネラルリコールを合図する。
  - (b) レース委員会が NoR/SI ルール 1.9(a)の下で行動し、ボードが特定された場合、レースが中止されたとしても審問なしに失格とする。レース委員会は、そのボードのセール番号を呼びかけるか表示し、直ちにコースエリアから退去させる。レースが再開または再行された場合でも、そのボードは参加してはならない。
- 1.11. 新しいプレスタートゾーンの定義を以下の通り追加する：

プレスタートゾーン:スタートラインと最初のマークからスタートマークまでのラインの延長線上によって形成されるエリア。スタートシークエンス中、プレスタートゾーンはコースエリアの一部である。
- 1.12. 新しい RRS ルール 23.4 を以下の通り追加する：

スタート信号の 30 秒前には:

  - (a) 全てのボードはプレスタートゾーン内でスタートライン方向へ帆走しなければならない;
  - (b) プレスタートゾーンの外から接近するボードは、ルームやマークルームを主張する権利がなく、プレスタートゾーン内のボードを避けなければならない;
  - (c) 停まったボード、著しく速度を落としたボード、または顕著に前進がないボードは、偶発的に転覆した場合を除き、他の全てのボードを避けなければならない。

## 2. [SP] 広告、セールへの表記、および国旗

- 2.1. セールと競技者は、イベントスポンサーのための広告を掲載することが求められる場合がある。これは、ワールドセーリング規定 20 - 広告コードに従い、地元の大会組織委員会によって提供される。
- 2.2. セール上では、イベントスポンサーのブランドは、8.0 ユースセールではバテン#5 の直下、7.0、6.0、5.0 ジュニアセールではバテン#3 の直下に、できる限りリーチに近く配置するが、セールの角の補強と重ならないようにする。競技者はステッカーを切ったり変形させたりしてはならない。
- 2.3. 競技者は、自分のセールに貼付する国旗と、それに代わるものを自分で用意しなければならない。

## 3. [SP] [NP] 追加の識別

- 3.1. フリートまたはグループの識別のために、大会実行委員会はイベントのビブベストを提供することがあり、競技者はレース中これを着用しなければならない。
- 3.2. 大会実行委員会が順位別の色のビブベスト(1 位、2 位、3 位)を提供する場合、競技者はその日のレースを行う際に着用しなければならない。
- 3.3. ビブベストはレース中に他の衣服の上に着用する。競技者は意図的にビブベストを切ったり破ったりしてはならない。
- 3.4. 大会実行委員会の色分けされたグループリボンを提供する場合、競技者はそれをセールの第 2 上部バテンの端またはマストの頂部に付けなければならない。

## 4. 参加資格、クラスおよび競技種目

### 4.1. 参加資格

- A) 本年度の日本セーリング連盟の会員であること。(\*IQFOIL ユース/ジュニアクラス全日本選手権参加選手は登録必須)
- B) 日本ウインドサーフィン協会の会員であること。(\*全員加入/JWA ユースジュニア会員登録費 3000 円/損害保険付帯)

- C) 全国の総合型地域スポーツクラブに所属する選手であること。
- D) 全国の各ブロックの総合型クラブ内での各選考レースに於いて、参加資格を取得した選手であること。
- E) 主催者もしくは協会が参加を認める選手。
- F) 保護者の同意を得ている選手。
- G) IQFOIL U19 男子/女子は 2024 年 12 月 31 日の時点で 19 歳未満であること。
- H) IQFOIL U17 男子/女子は 2024 年 12 月 31 日の時点で 17 歳未満であること。
- I) FOIL チャレンジクラスは 12-18 歳の選手であること。

#### 4.2. クラス

- A) IQFOIL U19 男子クラス、女子クラス (全日本)
- B) IQFOIL U17 男子クラス、女子クラス (全日本)
- C) FOIL チャレンジクラス (一般) \*セイルは8.0以下、ボード/FOILはオープンとする。

#### 4.3. 競技種目

本大会では、IQFOIL クラスはコースレース及びスプリントスラロームレースを行う。  
FOIL チャレンジクラスはスラロームレースのみ行う (コースは当日掲示される)

### 5. 参加料及びエントリー規定

#### 5.1. 大会エントリー費

- 1) IQFOIL U19 及び U17 クラス 15,000 円
  - 2) FOIL チャレンジクラス 8000 円
- ※申込期限以降のエントリーの場合はレイトエントリーフィー3,000 円が別途必要となる。  
主催団体指定の WEB エントリーシートから参加申し込みすること。

<参加申込み先・問い合わせ先>

一般社団法人湘南海洋教育スポーツ振興協会  
〒251-0035 神奈川県藤沢市片瀬海岸 1-12-4  
電話 050-2018-3946

【エントリーフォーム】 <https://www.club-sports.net/entry/reserve/flow/id/673>

#### 5.2. 参加料の支払い方法

支払い方法については期日までに指定の口座へ振り込むこととする。

- A) **11月15日(金)** までにエントリーフォームからエントリーし、**11月18日(月)** までに指定の口座に料金振り込みを完了するものとする。
- B) レイトエントリーの場合は **11月20日(水)** までにエントリーし、**11月20日(水)** までに指定の口座に料金振り込みを完了するものとする。
- C) 支払いが完了するまでエントリーは有効ではない。
- D) 競技者が競技に参加できない有効な理由を示す医師の発行する医療証明書を添えた場合、エントリー料の 50% が返金されることがある。

#### 5.4. 当日のレジストレーション時に以下の提示を求められる場合がある。

##### 5.4.1. 年齢の証明 (パスポートなど) \*全日本クラスのみ

#### 5.5. コーチ及びサポートボートがある場合は、大会実行委員会に届け出る必要がある。。

### 6. カメラおよび電子機器

6.1.[DP] [NP] 競技者は、大会主催者が指定するカメラ、音響機器、または位置情報機器をボードに搭載することが求められることがある。同じレースでこれらの機器を支給されない競技者は、大会主催者が指定した同じ位置に相当する重量を携帯しなければならない。

6.2.[SP] 競技者は、毎日レース前に NoR/SI 6.1 に記載された機器をレースオフィスから受け取る。

6.3.[SP] 岸に戻った際、競技者は NoR/SI 6.1 に記載された機器を抗議締切時間内にレースオフィスに返却する。

6.4.[NP] 個人のカメラ及びその付属品は、ボードや関連機器の機能または使用に影響を与えない場合に限り、携帯することができる。

6.4.1.撮影された映像や記録は、要請に応じて大会実行委員会に提供される。

6.5.CR C.4.2 に従い、トラッキング及び GPS 装置の使用が許可される。

### 7. 競技者への通知

7.1.競技者への通告は、公式掲示板のオンライン上に掲載される。

7.2.主催者は、補足情報を伝えるための LINE オープンチャットグループを設置する。グループへの参加リンクはレジストレーション時に公開される。

## 8. レース通知および帆走指示書の変更

レース公示および帆走指示書の変更は、クラスコース代表者の承認を受け、変更が効力を持つ日のレースの予告信号の60分前までに掲示される。ただし、レーススケジュールの変更は、変更が効力を持つ前日の21時または抗議締切時刻の終了時（いずれか遅い方）までに掲示される。

## 9. 陸上および海上での信号

- 9.1. 陸上で表示される信号は、公式フラッグポールに表示される。その位置はSSIで説明される。
- 9.2. [SP] [NP] 陸上でAPフラッグが表示された場合、「1分」はレース信号APの「20分以上」に置き換えられる。これはRRSレース信号を変更している。
- 9.3. セーリングフォーマット（コースレースまたはスラローム）に応じて、レース委員会は予告信号の少なくとも20分前に陸上で、または海上にて予告信号までにフォーマットフラッグ（SSIで説明）を表示する。
- 9.4. フィニッシュ船で表示される信号は、その時点でフィニッシュしているフリート/グループ/ヒートにのみ適用される。これはRRSレース信号序文を変更している。
- 9.5. [SP] [NP] 陸上でDフラッグが表示された場合、意味は以下の通りである。「予告信号は、Dフラッグが表示されてから20分以降に行われる、または予定時刻のいずれか遅い時刻までである」。選手は、信号が表示されるまで会場または割り当てられた出艇エリアを離れてはならない。

## 10. [DP] 装備の登録と検査（\*全日本クラスのみ）

- 10.1. [NP] 各競技者は、オンラインエキップメント登録フォーム(ERF)を完成させ、エントリー時に提出する。追加のアナログ登録システムが使用されることもある。
- 10.2. このイベントでは、登録されたエキップメントのみが使用される。
- 10.3. テクニカル委員会の事前の書面による許可なしに、登録されたエキップメントを会場、レースエリア、およびそれらに続く水域から持ち出してはならない。会場は定義され、その定義は公式掲示板(ONB)に掲示される。
- 10.4. 最初のレース前にエキップメントの公式検査が行われる。検査に関する情報は公式掲示板(ONB)に掲示される。
- 10.5. イベント中、以下の手順に従ってクラスルールおよびNoR/SIの遵守のため、いつでもエキップメントが検査されることがある：
  - 10.5.1. 競技者は、テクニカル委員会から陸上または水上で、直ちに検査エリアに移動して検査を受けるよう指示されることがある。
- 10.6. 検査のために進むよう指示された競技者は、テクニカル委員会の許可が与えられるまで、サポートスタッフとの無許可での接触は許されず、いかなる人もボードに近づいたり、離れたりするとは許されない。またボードへエキップメントまたは他のアイテムを取り付けたり外したりすることはできず、ボードを検査エリアから出してはならない。

## 11. [DP] 装備の交換（\*全日本クラスのみ）

- 11.1. 損傷または紛失した装備の交換は、テクニカル委員会の承認がある場合にのみ許可される。
- 11.2. 陸上での交換：損傷または紛失した装備の交換の要請は、テクニカル委員会の検討のために、陸上本部で申請しなければならない。いかなる要請も最初の合理的な機会に行われるべきである。
- 11.3. 水上での交換：レース直前にエキップメントを損傷または紛失し、交換する場合、競技者は予告信号前にテクニカル委員会またはレース委員会に通知しなければならない。陸に戻り次第可能な限り速やかに、抗議締切時間内にNoR/SI 11.2に従い、交換されたアイテムをテクニカル委員会に提示しなければならない。

## 12. スケジュール

### 12.1. イベントスケジュール

11月23日（土）	
8:30~9:30	レジストレーション、インスペクション
9:30	開会式・スキッパーズミーティング
10:30	第1レースの予告信号時刻 引き続きレース
11月24日（日）	
10:00	その日の最初のレースの予告信号時刻 引き続きレース
17:00	表彰式・閉会式

- 12.2. 最終日のレース（先行するディビジョン）の予告信号は15:30以降に発せられることはない。ただし、ゼネラルリコールの場合にはこの限りではない。
- 12.3. 2日間で8レースを予定する。1日の最大レース数は4レースであるが、スケジュールの遅れにより1日あたりの最大レース数が5レースに増加する場合がある。

12.4. 今大会では、IQFOIL クラスのマラソン及びメダルシリーズは行わない。

### 13. クラス旗およびセーリングフォーマットフラッグ

クラス旗およびセーリングフォーマットフラッグの説明は補足の帆走指示書（SSI）にて行われる。

### 14. レースエリア

14.1. レースエリアの位置を示す地図は、江ノ島湾内と湾外の以下の海域内とする。（\*レースエリア添付参照）

14.2. レースエリアは、競技者が通常レース中に帆走するコース全体を超えて 150 メートルまで広がるエリアとして定義される。

14.3. [DP] リーチングスタートの場合、レースに参加していないボードは、レース中のボードがいるエリアの風上側に居てはならない。

14.4. [DP] レースに参加していないボードはレースエリアを避けなければならない。

（\*レースエリア）



### 15. コース

15.1. コースレースはレースエリア2にて風上/風下コースを予定する。

15.2. スプリントスラロームレースは、レースエリア1または2にてダウンスラロームコースを予定する。

15.3. FOIL チャレンジクラスはレースエリア1（湾内）でレースを行う予定とする。

15.4 帆走されるコースは補足 A に示される。図にはマークを通過する順序と、各マークをどの側から通過するか示される。FOIL チャレンジクラスは当日コース図を掲示する。

15.5. プイの形状は、レース当日に変更される場合がある。

### 16. マーク

16.1. マークとなる船は、アンカーを下ろすことなく、エンジンを使用してその位置を保持することができる。船が正しい位置に近く留まっている限り、これは救済の要求の根拠とはならない。これは RRS 60.1(b) を変更している。

### 17. スタート

17.1. 全てのレースは、以下の信号を使用してスタートされる：

<i>Minutes before Starting signal</i>	<i>Visual signal</i>	<i>Sound signal</i>	<i>Means</i>
3	Class flag displayed Heat number displayed (if applicable)	One	Warning signal
2	U or Black flag displayed	One	Preparatory signal
1	U or Black flag removed	One long	One-minute signal
0	Class flag removed	One	Starting signal

これは RRS B3 26.1 および 26.2 を変更する。

17.2. コースレースおよびスプリントスラロームレースにおいて、スタート・ラインはレース・コミッティー・ボードのオレンジ色の旗と、次のいずれかとの間とする。

17.2.1. 設置されたスタートマークのコース側、または

17.2.2. レース委員会アウトバーピンボードにオレンジフラッグを掲示するポールとの間になる。

17.3. [DP] スタートシークエンスが進行中の場合、予告信号が発せられていない競技者はスタートエリアを避ける必要がある。スタートエリアは、スタートラインとマークから全方向に 75 メートルの長方形として定義される。

17.4. 競技者が自分のスタート信号から 2 分以上遅れて（スプリントスラロームの場合は 1 分以上）スタートする場合、審問なしでスタートしなかった(DNS)と記録される。これは RRS A4 および A5 を変更している。

17.5. 次のレースの予告信号は、前のレースの終了後、可能な限り早く行われる。

17.6. レースまたは一連のレースが間もなく開始されることを選手に警告するため、オレンジのスタートラインフラッグは予告信号が行われる少なくとも 2 分前に（1 回の音とともに）表示される。

17.7. RRS 30.4、NoR/SI 1.10. および RRS 36 の目的のために

a) フリートが 24 以上の競技者で構成される場合、異なる種目（コースレース、スプリントスラローム）で行われたレースは、以前試みられたレースの再セーリングまたは再スタートとは見なされない。

b) フリートが 24 以下の競技者で構成される場合、異なる種目でセーリングされるレースは、以前試みられたレースの再セーリングまたは再スタートと見なされる。

18. コースの次のレグの変更

コースの次のレグを変更するために、レース委員会はマークを移動する（またはフィニッシュラインを移動する）。

19. フィニッシュ

フィニッシュラインは、フィニッシュマーク上の青旗を掲示するポールと、フィニッシュラインの他端にある設置マークのコース側（またはこのマークにフラッグがある場合はそのポール）との間になる。

20. ペナルティシステム

20.1. クラスルール、RRS 50、または NoR/SI に[DP]または[SP]と記されたルール違反に対するペナルティは、審問とされた場合ジュリーの裁量に委ねられる。

20.2. NoR/SI に[SP]とマークされた違反およびクラスルールの違反：C.1.1.(a)、C.3.2.(a)(i)(ii)(iii)、C.3.3.(i)、C.3.4、C.10.2.(b)(c)、D.2.(a)については、レース委員会またはテクニカル委員会が審問をせずにインシデントに最も近いレースに標準ペナルティを適用することができる。他のボードの得点は変更されないため、2 つのボードが同じ得点を受けることがある。ただし、標準ペナルティが不適切と考える場合、レース委員会またはテクニカル委員会はボードに対して抗議を行うことができる。標準ペナルティで罰せられたボードは、他のボードによる同じインシデントに対する抗議の対象とはならず、また他のボードがこのレース委員会の行動に対して救済を求めることもできない。これにより RRS 60.1、63.1、および付則 A5 が変更される。

20.3. 補足 B には違反のリストと関連する標準ペナルティが含まれている。

21. タイムリミットと目標時間

21.1. レースのタイムリミットと目標時間は分単位で以下の通りである：

<b>Opening series</b>	<b>Target Time</b>	<b>Time Limit</b>	<b>Finish Window</b>
Course Racing	16	23	6
Sprint Slalom	4-5	7	4
Marathon	60	90	30
<b>Medal Series</b>	<b>Target Time</b>	<b>Time Limit</b>	<b>Finish Window</b>
MR1	6	9	5
MR2	4-5	7	4

\* マラソン/メダルシリーズは実施しない

- 21.2. 目標時間に達しないことは救済の根拠とはならない。これは RRS 62.1(a)を変更している。
- 21.3. すべてのレースにおいて、RRS 28 に従いそのグループで最初の競技者がレースを帆走した後、フィニッシュウィンドウ内で示された時間内にフィニッシュできなかったボードは、フィニッシュしなかった(DNF)と記録される。これは RRS 35、A4、および A5 を変更している。

## 22. 審問の要求

- 22.1. 審問要求フォームは、陸上本部にて入手できる。抗議や救済、再審の要求は、抗議締切時間内に陸上本部に提出される。
- 22.2. 抗議締切時間は、そのフリートまたはグループの最後の競技者がその日の最後のレースを終えてから 60 分後、またはレース委員会がその日のレース終了を示す信号を発した時点のいずれか遅い方である。
- 22.3. 抗議締切時間から 20 分以内に通知が掲示され、関係する競技者や証人として名前が挙がる者に、審問について通知される。
- 22.4. 審問は審問室で行われる。
- 22.5. 競技者のレースの最終予定日に審問の再開を要請する場合、要請者が前日に決定を知らされていれば抗議締切時間内、またはその日に決定を通知された場合はその後 30 分以内に行わなければならない。これは RRS 66.2 を変更している。
- 22.6. 競技者のレースの最終予定日に、ジュリーの決定に対する救済の要求は、決定が掲示されてから 30 分以内に提出される。これは RRS 62.2 を変更している。

## 23. 得点

- 23.1. 大会の成立には最小 1 レースが必要である。
- 23.2. 各クラスの得点は、全体得点から再計算なしで抽出される。
- 23.3. レースの得点は以下の通りである：
- 23.3.1. コースレースは、1 レースごとの順位で得点される。
- 23.3.2. スプリントスラロームレースは参加者が 24 名以下の場合、1 レースごとの順位で得点される。スプリントスラロームラウンド（各フリートまたはグループが 1 ヒート帆走した）は、シリーズで 1 レースとして得点される。フリートまたはグループがヒートに分かれている場合、ボードは以下のように得点される：

Finishing Position	Score	Finishing Position	Score
1	1	13	25
2	3	14	27
3	5	15	29
4	7	16	31
5	9	17	33
6	11	18	35
7	13	19	37
8	15	20	39
9	17	21	41
10	19	22	43
11	21	23	45
12	23	24	47

- 23.4. 競技者のシリーズ得点は、3レース以上行った場合は最も悪い得点を除外したレース得点の合計となる。8レース成立した場合は、2番目に悪い得点を除外した合計の得点となる。
- 23.5. 掲示された結果における誤りの訂正を要求するため、競技者は大会実行委員会に利用可能な得点問い合わせフォームを完成させ提出する。
- 23.6. ヒートでレースする場合、スタートせず、コースを帆走せず、フィニッシュせず、リタイヤした、または失格となったボードは、そのシリーズでヒートに割り当てられた最大のボード数よりも1つ多いフィニッシュ位置の得点が与えられる。これは RRS A5.2 を変更している。

#### 24.[DP][NP]安全規定

- 24.1. レースからリタイヤする競技者は、できるだけ早くレース委員会に通知し、帰着後は陸上本部で速やかに申告する必要がある。これは抗議締切時間内に行う。
- 24.2. レース日に参加しない競技者は、陸上本部に申告しなければならない。
- 24.3. [SP] 出艇申告／帰着申告のシステムが使用される場合がある。手順は SSI に記載される。
- 24.4. 海上にいる間、すべての競技者は個人用浮揚用具（ライフジャケット）、ヘルメットを着用しなければならない。この項は第4章前文及び RRS40 を変更している。
- 24.5. レース委員会またはジュリーは、レース艇が帆走不能もしくは危険な状態にあると判断した場合は、リタイアを命じることができる。この項は RRS3 を変更している。ただし、救済の根拠とはならない。

#### 25. サポートボート

- 25.1. サポートボートは、レース初日の最初の予告信号 60 分前に陸上本部にて登録受付をしなければならない。
- 25.2. サポートボートはレスキューボートとみなされ、以下の条件を満たす場合のみ使用が許可される。
- 事前に大会事務局に現地航行ルール及び出艇場所等の条件を確認し、その指示に従うこと。
  - 平常時はサポートボートとして航行範囲の制限を守り、レース委員会からレスキューボートとしての要請があれば、いつでもこれに応じること。この要請があった場合のみ制限範囲内への進入を認める。
  - サポートボートは、事前にヨットモータボート保険（対人対物賠償責任保険及び搭乗者傷害保険）に加入していること。
  - サポートボートは大会実行委員会よりサポート艇フラッグを受け取った場合、掲揚しなければならない。
- 25.3. 次の書類を最初のレース前に陸上本部に提示しなければならない：  
有効な第三者賠償責任保険の証明。船舶免許証



## 26.環境責任

- 26.1.「参加者はセーリングスポーツの環境への悪影響を最小限に抑えるよう奨励される」という基本原則があり、イベント中及び終了後も常に環境保護に配慮することが推奨される。特に水中に意図的にゴミを捨てる行為に注意が促される。この規則は船上にいる間、常に適用される。この規則違反に対するペナルティは失格よりも軽いものとなる可能性がある。
- 26.2.[DP] サポート船や大会運営船にゴミを置くことができる。

## 27.[DP]無線通信

- 27.1.海上にいる間、競技者は主催者が提供する機器を除き、無線の送信または受信が可能な機器を持つことは禁じられている。この制限は携帯電話にも適用される。
- 27.2.安全を目的として、サポート船はレース委員会の使用チャンネルを受信することができるが、緊急の場合を除き、このチャンネルでの送信はできない。レース委員会の公式チャンネルは SSI で公開される。

## 28.表彰

- 28.1. 2024 iQFOiL U19 および U17 全日本選手権の男女それぞれ上位 3 位の選手に、日本セーリング連盟より表彰状を授与する。
- 28.2. 今大会は、日本ウィンドサーフィン協会の定める 2025 年 J W A ユース/ジュニア強化選手の選考基準大会に含まれる予定である。
- 28.3. F O I L チャレンジクラスについては、男女上位 3 位を表彰する。
- 28.4. その他に、大会実行委員会の裁量により、賞を授与する場合がある。

## 29.責任放棄

- 29.1.RRS の規則 3 には「レースに参加するか、または続けるかについてのボードの決定の責任は、そのボードにある」と記されている。セーリングはその性質上予測不可能なスポーツであり、本質的にリスクを伴う。イベントに参加することで、各競技者は以下を認識し同意する：
- 29.1.1.スポーツに伴う固有のリスクを認識し、イベントへの参加中に自身とボードをそうした固有のリスクにさらすことに対する責任を受け入れる。
- 29.1.2.海上および陸上で自身とボード及びその他の財産の安全に責任を持つ。
- 29.1.3.自身の行動または怠慢によって引き起こされた傷害、損害、損失に対する責任を受け入れる。
- 29.1.4.ボードは良好な状態で、イベントへの参加に適した装備が整っており、自身の状態も良好で参加する資格がある。
- 29.1.5.レース管理チーム、監視船、その他のオフィシャルやボランティアをレース主催者が提供しても、それらは自身の責任を免除するものではない。
- 29.1.6.特に極端な天候条件下に於いて、実用的に提供できる範囲での監視船の支援は限定される。
- 29.1.7.レース委員会やテクニカル委員会が艇の検査を行うかどうかにかかわらず、この NOR/SI に記載された各競技者の責任を軽減するものではない。

## 30.保険

- 30.1.各競技者は、第三者賠償責任保険に加入していることが必要である。
- 30.2.本競技会の主催者（共同主催者）は JSAF 総合賠償責任保険（旧 J）ならびに民間損害保険会社取り扱いの賠償責任保険に加盟している。
- 30.3.本競技会の主催者（共同主催者）は大会参加選手全員の以下記載の内容の傷害保険に一括して加入している。  
加入保険内容 死亡：1,000 万円 入院：5,000 円 通院：2,000 円 賠償責任：1 億円

## 31.責任の否認

この大会の競技者は自分自身の責任で参加する。RRS3「レースすることの決定」を参照。主催団体は、大会の前後・期間中に生じた物理的損害または身体障害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

## 32.承諾事項、その他

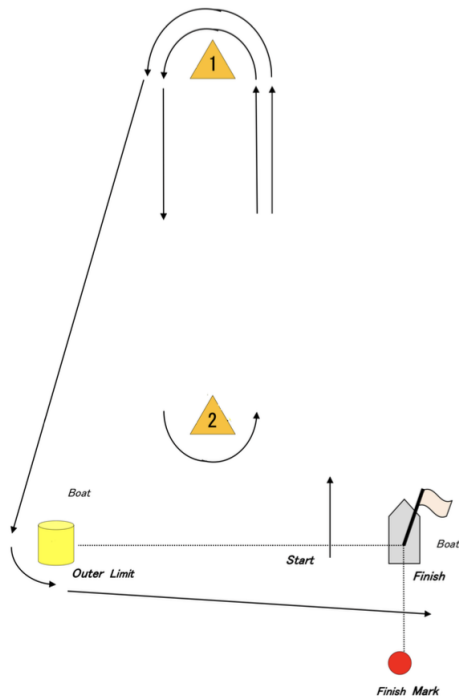
- 32.1.I Q F O I L ユース・ジュニアクラスのクラスルールは、以下の URL (<https://iqfoilyouthjuniorclass.com/class/class-rules/>) を参照。
- 32.2.JWA 登録、セールナンバー登録等は JWA ホームページ (<https://jw-a.org/>) を参照。
- 32.3.セールナンバー
- A) 参加選手はセールナンバーを、クラスルールに従って表記するものとし、これに違反した選手は本大会に参加することができない。大会参加後に於いても表記違反が確認された場合は、本大会の全てのレースを DNC とされる。
- B) ナンバーが他の選手と重複した場合は、JWA に登録されたナンバーが優先される。
- 32.4.天候コンディション等により中止となった場合でも、参加料の返還はしないものとする。
- 32.5.当日、気象警報などが出た場合は中止とする。

- 32.6.大会期間中、必ずスタッフの指示に従うこと。
- 32.7.競技に参加するための道具は各自用意すること。
- 32.8.自分の体力と当日の体調を確認し、各自の判断にて出場すること。
- 32.9.クラスルールに従った浮力体を各自必ず用意すること。
- 32.10.参加申込に際しては、大会開催会場の利用規約を遵守承諾するものとする。また、個人情報の取り扱い、写真等の取り扱いについても上記利用規約記載の通りとし、参加者はそれを承諾するものとする。
- 32.11.選手の氏名、所属、順位等については、各種メディア等に掲載する可能性があることを参加者は承諾するものとする。
- 32.12.大会期間中の選手に関する動画、スチール写真および撮影された映像、記録、フィルムまたはその製版の制作、使用および時々の展示について、無償で主催団体に独自の判断で使用する永久的な権利を自動的に与えるものとする。
- 32.13.近隣での無断駐車はしないこと。
- 32.14.ごみを投棄しないこと。

補足 A ; コース図

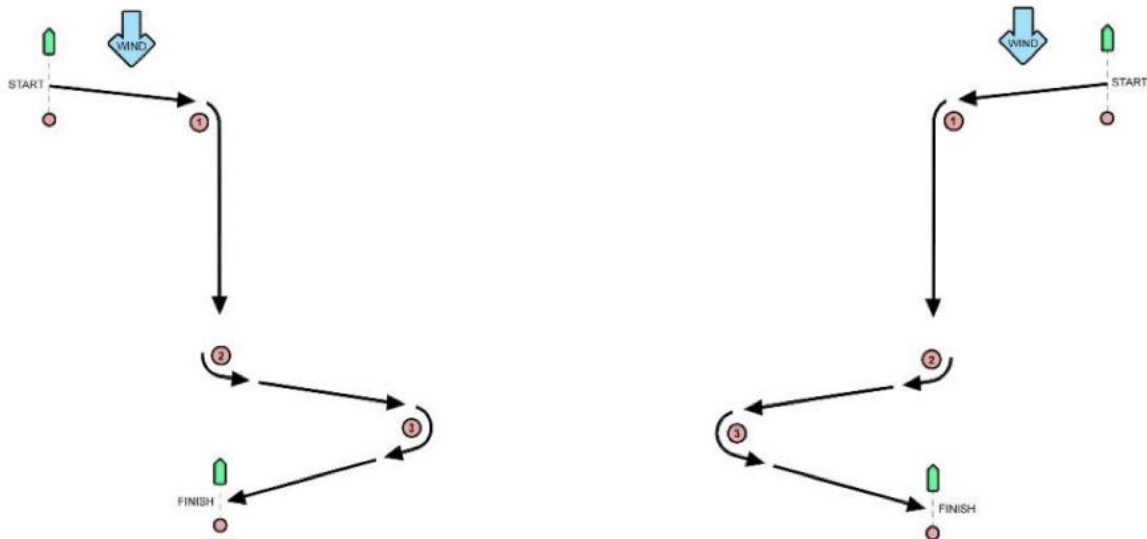
コースレースの場合 ; スタート-マーク 1-マーク 2-マーク 1-マーク 0-フィニッシュ

■コース図



スプリントスラロームの場合 ; スタート-マーク 1-マーク 2-マーク 3-フィニッシュ(

Sprint Slalom – Downwind slalom course (MEDAL SERIES MR2)



Signal	Mark rounding order
PD3	Start-1- 2-3-Finish

Signal	Mark rounding order
SD3	Start-1- 2-3-Finish

補足 B ; 標準ペナルティ

NoR/SI 20 に従い、レース委員会は当初、以下の標準ペナルティを適用します:

イベントビブ/リーダービブを指示通り着用していない:	規則違反したレース毎に 1 ポイントの得点ペナルティ
イベント広告を指定された通りに表示していない:	規則違反したレース毎に 1 ポイントの得点ペナルティ
カラーリボンを指示通りに表示していない:	規則違反したレース毎に 1 ポイントの得点ペナルティ
出艇申告を指示通りにしていない:	その日の最初のレースに 1 ポイントの得点ペナルティ
帰着申告を指示通りにしていない:	その日の最後のレースに 1 ポイントの得点ペナルティ
陸上で D 旗が掲揚される前に出艇した時:	その時一番近いレースに 5 ポイントの得点ペナルティ

NoR/SI 20 に基づき、テクニカル委員会は当初、以下の標準ペナルティを適用します:

ヘルメット—未着用:	規則違反したレースに 5 ポイントの得点ペナルティ
笛—未着用:	規則違反したレースに 5 ポイントの得点ペナルティ
インパクトベスト—未着用:	規則違反したレースに 5 ポイントの得点ペナルティ
ハーネス— 4 kg を超える場合:	規則違反したレースに 5 ポイントの得点ペナルティ
個人装備—10kg を超える場合:	規則違反したレースに 5 ポイントの得点ペナルティ
個人浮力体(要求された場合)CR/RRS に従っていない:	規則違反したレースに 5 ポイントの得点ペナルティ
セイルナンバー/国識別レターが CR に従っていない:	規則違反したレースに 2 ポイントの得点ペナルティ
国旗を掲示が C R に従っていない:	規則違反したレースに 2 ポイントの得点ペナルティ